台湾・開南大学　短期留学報告

地域資源創成学部・研究科　地域資源創成学科・課程・専攻　２年　（大崎雅也）

〇留学先：台湾・開南大学

〇留学プログラム名：開南大学夏期中国語/英語・台湾文化研修

〇留学期間：2026年8月16日～２０２６年８月30日

〇渡航時の学年：２年次

・留学に至った経緯について：

大学１年生の時に参加した韓国での短期留学が非常に楽しく、２年時も短期留学に行きたいと思っており、また、英語にも興味を持ち始めていたころ、国際連携課さまからの短期留学の案内が目に留まった。費用も高くなく、観光も充分でき、英語の講義を受けられるというプログラムに惹かれて参加を決めた。

〇渡航前の手続について

・大学での手続について：

→申請書・誓約書等の提出
学研災付帯海外留学保険と J-TAS に加入
オンライン渡航届の提出

・留学奨学金の有無（ 有 ・ 無 ）
（奨学金名称）海外留学支援

（応募申請のプロセス）**国際連携課　グローバル化推進係からのご案内**

応募手続き
- **申請書・誓約書・成果報告書の提出**
- **学研災付帯海外留学保険と J-TAS に加入**
- **危機管理ハンドブックの受取**
- **オンライン渡航届・帰国届の提出**

〇留学体験記：

渡航費用：６～７万円程度　生活費：２万円

台湾での短期留学では、英語の講義を受けていた。講義は非常に楽しく、積極的に受けることができた。話す機会も与えられるため、リスニングともにスピーキングも伸ばすことができた。

講義では、プログラム内で訪れる台湾の観光地について英語で学んだ。先生のおすすめの場所であったり、おすすめのご飯をも教えてくれたりしたためプログラムが非常に楽しくなる講義であった。
日本よりも積極的に講義に取り組みやすい環境であった。特に印象に残った講義は、成果発表で行うパフォーマンスについて英語でクラスメイトとディベートした講義だ。様々な案がでて、よりよい発表にするためにそれぞれが出した案の良いところや悪いところを英語で言い合い、比較した。
クラスメイト同士で謙遜し合うことなく英語でディベートし、英語を使って気持ちや考えを伝える機会になったため、印象に残っている。また、先生は非常に優しく毎講義で朝ごはんや飲み物やお菓子を配ってくれた。
　文化体験では、現地の学生とお互いの文化やおすすめのスポットについて話しながら、台湾キーホルダーと焼きビーフンを作った。ハンマーを使ったり、やすりを使ったりして、本格的にオリジナルの台湾キーホルダーを作ることができた。日本に帰った今では、台湾での日常を思い出すことができるものになっている。料理では、中華鍋を使ったり、台湾特有の調味料を使ったりして、一から焼きビーフンを作った。台湾特有の調味料の見た目は不思議なものであったが、味が非常に美味しく焼きビーフンに加えると本格的な味になったと感じた。現地の学生は焼きビーフンを作るとき中華鍋を上手に振っていてかっこよかった。
また、学外の文化体験では、有名な老街、台北市内の有名なお店、台北１０１、九份、十分に訪れた。台湾の街並みは日本では感じることの出来ない不思議な雰囲気をしていたり、日本では見ることのできない交通環境であったりを見ることができた。また、お茶の種類も多く販売されており試飲が楽しかった。交通面では、バイクが非常に多く、ルールも日本と全く違うため事故には気を付ける必要があった。学外の文化体験では、台湾でトップの飲食店にも行き、非常に美味しいご飯を食べることができた。中でも炒飯と小籠包が非常に美味しかった。散策をするだけでも他文化を多く感じられる場面が多く非常に貴重な体験ができた。
　また、大学は非常に広く、綺麗だった。寮は４人１部屋で日本と比較すると、清潔感は少しなかったが充分に休憩できるし快適に睡眠をとることができた。
大学は台北市内から公共交通機関で、１時間程度で２週間の中で、６回ぐらい行けた。

大学は桃園市内にあるため、十分に遊べる環境であった。
台湾は夜市が多くあり、自炊をしなくても非常に安く食事をすることができた。
夜市も８個ぐらい回れた。地域ごとに売っているものが異なり、おもしろい食べ物などもかなりあり、挑戦するのが楽しかった。夜市では、ダージーパイや角煮が特に美味しかった。
チューターの方や台湾の学生は非常に親切で熱心に夜市や観光地を案内してくれた。
夜も一緒にパーティーしたり、ボードゲームをしたりした。お別れの時は非常に寂しかったが、宮崎大学に留学予定のチューターさんもいたのでこれから会うのが楽しみだ。

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ
　留学前は、無事に現地に行けるのか、留学先で友達ができるかが特に不安であった。
しかし、南部先生や国際連携課がフライトの確認をしてくれたり直前までメールで様々な確認をしてくれたおかげで安心して現地に向かえ、無事に日本に帰ってくることができた。
また、現地の学生は空港での初対面のときから非常に積極的に話しかけてくれて距離がすぐに縮まり初日から一緒に買いものに行ったりご飯を食べたりして仲良くなることができた。

台湾での遊びや食事を教えてくれて、一緒に遊んでくれて、ワクワクが止まらなかった。
現地の学生は面白く、フレンドリーで私たちの留学を全力で楽しませてくれた。

　留学を迷っている方がいるのであれば行くことを強くおすすめします。
日本では味わえない雰囲気に包まれ新鮮な気持ちになり、ありのままの自分になれるのではないでしょうか。
台湾では、自分のすべてを受け入れてもらえ、全力で学べ、全力で遊ぶことができました。
留学を通して実践的な語学力やコミュニケーション力を身に付けられたし、自分の好きなことについても知ることができ自分自身についても学べる機会になりました。
留学に行ったからこそ海外の友達ができ、これから先、日本に来てくれる海外の友達と遊ぶ予定もできたし、日本での日常も非常に楽しくなったと感じています。
最後に、現地では現金を引き出すことができなかったため、現金は持っていくことをおすすめします。







